

里母として学んだこと

ふるきを知り、新しき事を行う事は子たちの成長から学び得た事実。

里親として得た子育てに関し、良きことは過去から学ぶ精神を培う。

(例)

☆子どもたちから学んだこととして次のようなことが挙げられる。

- 1、赤ちゃんとは、満一歳までの成長が人間としての最も大切な情緒を学びとることが多い。
- 2、赤ちゃんとは、すべて泣きから始まる。
- 3、赤ちゃんとは、全てにおいて恐れを知らない無防備な状態である。
- 4、赤ちゃんとは、周囲の環境から見たり聞いたりした事の真似から始まる。
- 5、赤ちゃんとは、胎内からの受けた影響も大きく出てくる。
- 6、赤ちゃんとは、いつも同じ特定の養育者（もしくは母親）が必要。
- 7、赤ちゃんとは、24時間養育者の肌身から離れないその延長線上に、心の安定と自己満足がある。
- 8、赤ちゃんとは、安心できた環境により少しずつ周りに目を向け興味のある方へ進む。
- 9、赤ちゃんとは、養育をするものが身の回りの清潔に気を付けて行かなければならない。
- 10、赤ちゃんとは、養育者の心身ともに安定した対応が赤ちゃん的笑顔を作り出せる。
- 11、赤ちゃんとは、常に健康に気を使って上げなければならない。